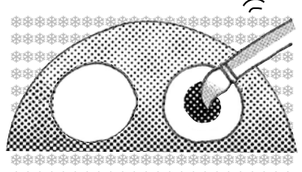
家族で読むページ



専門家庭教師の眼 2019 6

5年生 新年度に差がつく、勉強のコツ

協力：麻布個人指導会

中学受験の新年度は2月です。5年生はあと2か月でいよいよ受験学年となりますが、勉強は順調に進んでいるでしょうか。良いスタートを切るためには「良い準備」が必要です。今一度、学習方法を見直してみましょう。

今年度最後の専門家庭教師の眼では、今やっておきたい4科の勉強について、麻布個人指導会のベテラン講師二人にアドバイスしてもらいました。冬休みを含むこれからの時期の学習を効果的にするために、ぜひ、参考にして下さい。

斉藤（さいとう） 奈緒子（なおこ） 講師

当会で長年に亘って第一線で活躍している理系教科指導のエキスパート。受験生の弱点を素早く把握し、確実に得点力を強化する指導技術を持つ。プロ意識が高く過去問研究にも熱心、万全の志望校対策で毎年多くの受験生を第一志望校へと送り出している。

最近の合格実績
女子学院、雙葉、早稲田実業、明大明治、吉祥女子、鷗友学園、学習院女子、中央大附属、法政大、頌栄、晃華学園、東洋英和、富士見、成蹊、日大二など。

算数 「比」を制する者は算数を制す！

塾などでも5年生の後期には重要な単元を習うことが多いのですが、学校行事の多い時期とも重なり、日々の授業に追われ見直しの時間が取れていない人が多いようです。これからの時期は、9月以降に習った単元で苦手なところ、手薄になっていたところの復習にあてるのがいいと思います。塾に通っている場合には冬期講習をうまく利用しましょう。習った当初はできていたが、もう一度やるとできない問題や、テストの見直しをしてわからないところをもう一度やってみます。これまで習った単元に関して深くというよりはまず広く浅く全体的に見渡しましょう。

●「比」を攻略しよう！

5年生のこの時期は「比」がメインになります。「比」の単元自体はもちろんですが、「比と速さ」であったり「比と平面図形」であったり、比を使った応用問題になると苦手な人が多いようです。まず、比に関連した問題から復習して、得意単元にしてしまいましょう。

算数が苦手な人にぜひお勧めしたいのは、まず得意分野を一つ作ることです。たとえば、この「比」や「割合」を得意にすれば受験算数の半分を攻略できるといっても過言ではありません。まずここから始めて、次にもう一つ自信の持てる単元を作る、そうすればいつの間にか算数に対する苦手意識は消えるはず。6年になる前の今がそのチャンスです。まずその第一歩を踏み出してください。

●頭ではなく手で解く

問題を解くときには頭で考えるだけではなく、手を動かすことが大事です。文章題でも自分なりに図を書いて整理する練習を今のうちからしておくこと。6年になってからやろうと思っても、急にはできないものです。図形問題では、そこに条件を書き加えていけばいいのですが、文章題を図に書き起こすことは慣れないとできません。

線分図や面積図を書かないで、式だけで解こうとする人が結構いるのですが、途中でつまると、何を求めようとしているのか、どこまで戻ればいいのか分からなくなり、逆に時間のロスとなります。図を書いて整理する力が、算数ではとても大事です。

実際の入試でも答えだけではなく、途中の考え方を書かせる学校が増えています。そのときに、図を書いて整理できていれば、たとえ答えには至らなくても部分点がもらえます。

●計算は筆算が基本

計算ミスで点数を落としてしまうというご相談をよく受けますが、私は暗算ではなく筆算を基本に指導しています。よほど単純な計算でなければ、基本、手を動かして紙の上で計算する。それも殴り書きではなく読める字で。もし、中途半端に暗算に頼って、計算ミスが減らないのであれば、この機会に筆算派に転向してみてはいかがでしょうか。

書くスペースは問題用紙かノートかの違いはありますが、実際の入試でも学校によって計算のスペースはまちまちです。スペースに合わせた数字の大きさで、後で見直せるように、書く場所も工夫する。細かいことかもしれませんが、今のうちに意識して実行すれば、計算ミスは必ず減ります。

理科のワンポイントアドバイス

●算数が、最初は簡単でだんだん難しくなるのに比べて、理科の物理・化学分野は5年生で学ぶ基礎・基本が、実は一番難しいとも言えます。生物・地学分野も覚えるものがたくさんありますが、どこまで覚えるのか、覚えるものの体系を理解して分類することが、6年になる準備につながっていきます。

●普段のニュースやテレビ番組にも理科に関する興味をひく話題がたくさんあります。環境問題・温暖化・ニュートリノ・原子力・IPS細胞・AIなど。これらはそのまま入試に出題されることもあります。知的好奇心を絶やさない環境を作ってあげることも大切です。また、疑問を解決する手段として、インターネットをうまく活用しましょう。

品川（しながわ） 高廣（たかひろ） 講師

かつて大手S塾とN塾の講師として教壇に立った経験を持ち、培ったノウハウを存分に発揮して受験生の学力を引き上げている。明るく親しみやすい人柄と雰囲気で、お子さんをやる気にさせるトークも巧みな人気講師。連日多くの家庭で熱心な授業を展開している。

最近の合格実績
桜蔭、栄光学園、早稲田、芝、攻玉社、吉祥女子、鷗友学園、横浜共立、明大中野、世田谷学園、高輪、獨協、市川、立教新座、栄東、開智など。

国語 “読まず嫌い”を直すチャンス

国語の文章読解は、5年生にもなると、はっきり得意か不得意かの差が出てくる時期だと思います。テストやテキストの文章量も6年になると1.5～2倍に増えるケースもありますから。理想は、それに耐えうる力をつけていくのが大事です。

●意識的に読む！

国語が苦手なお子さんの場合、そもそも文章を読まないで、ざーっと字面を追っているだけなのです。塾などでも文章の中身をどうやって読むのかは教えてくれません。

たとえば、説明文であれば、段落ごとに何を言っているのかを把握する必要があります。ほとんどの場合、最初の段落でテーマを示して、最後の段落でまとめます。始まりと終わりを一番意識してほしいです。模擬試験などで、要旨を聞く問題がありますが、意外とできていません。これは、始まりと終わりを意識してないことが原因の場合が多いです。

●読む訓練は4年・5年のうちに！

また、説明文では、比べられているものがないかもポイントになります。何と何を比べているのか、文章の構造にかかわるところは出題されやすい箇所でもあり注意が必要です。

私の指導中の経験でも、国語が苦手で読む途中で疲れ切ってしまって、そこから脱出してしまうお子さんもいました。小6になるとさらに難しい文章も出てきますから、今のうちに忍耐力をつけておくことが大事です。読む訓練は4年・5年のうちに取り組んでおきたいところです。

逆に、国語が得意なお子さんは、テキストに出てくる説明文でも興味があれば一冊読んでみるとか、どん欲に長い文章にも挑戦してほしいと思います。

●本当に難しいのは物語文

物語文が苦手なお子さんの場合、登場人物の気持ちを自分の気持ちを基準に考えて、客観的に考えられないことが多いです。心の成長の度合いにもよるのでしょうが、日常生活の中でも他人の気持ちを想像することが、心情の理解には必要です。

ジュニア向けの選書もありますから、重松清とか芥川龍之介の短編など、どん欲に挑戦してもらいたいです。

●語彙力でも差のつく時期

5年生までに習う漢字・語句も入試ではよく出題されますから、6年になる前に定着度は確かめておきましょう。塾などのテスト前にちゃちゃっとやるだけではなくて、数か月たってちゃんと覚えているかどうかです。

ちまたでは、漢字ドリルやクイズ形式の問題集などいろいろ出ていますので、そういうものを使うのもいいのですが、私は、わからない語句は自分で調べて、語句ノートを作ることを勧めています。やはり、テキストなどで出てきた語句を自分で調べて、ノートを作ることで、意識的に語彙を増やしてほしいと思います。

●テクニックに頼るのは、まだ早い！

国語の読解でも点を取るためのテクニックは確かにあります。しかし、今は正攻法でどれだけ読解力をつけられるか、どれだけ語彙を増やせるかが一番大事です。食べず嫌いという言葉がありますが、読まず嫌いになってはいけません。6年になる前に、どん欲に読み進めてください。

社会のワンポイントアドバイス

●地理に関しての勉強法のオススメは「テレビを見ること」。特に旅番組や紀行番組がオススメです。例えば全国各地のご当地グルメには、その地域の特産物が使われていることがあります。家族でテレビを見ながら、「この○○美味しそうだね」「ここ行ってみたいね」など、そこからお子さんと会話を弾ませてみると効果的です。

●歴史は一つの言葉から知識を広げる習慣をつけましょう。親子で「連想ゲーム」に取り組んでみるのはどうでしょうか。「関ケ原の戦い→徳川家康→江戸時代→徳川家光→参勤交代」など、知識を広げることでゆくゆくは上位校の記述問題にもしっかり対応できるようになります。勉強に対するアプローチを変えてみましょう。

教務の現場から⑩

●ラベリング効果？

家庭教師の人選は、電話だけではなく実際にお会いして、現在の学習状況、ご家庭の要望、お子さんの様子を把握するようにしています。面談の場で、お子さんの得意不得意や性格などについて、ご父母が、「うちの子は理科には全く興味がなく…」とか「自分からは絶対に質問できない性格なので…」ときっぱり断定口調でおっしゃることが時々あるのですが、その場にお子さんが同席しているとその表情は微妙です。

心理学には、人は貼られたレッテル通りに行動するという“ラベリング効果”という言葉があるそうです。お子さんのモチベーションを上げるのも家庭教師の大事な役割です。自信をなくしているお子さんには、「やればできる」とか「まだまだ伸びる」とかプラスの効果を与えるラベルをたくさん貼ってあげたいですね。

教務　高野

学生は一切派遣していません

創立33年 中学受験の専門家庭教師を派遣いたします

「家庭教師とはどのようなものか、メリットは何か」 12/15(日) 9:00～10:30 / 15:00～18:00 の間の30分～1時間、恵比寿教室にて当会ベテランスタッフによる質問・相談会を行います。 無料 前日までにご予約下さい。

小6受験生へ もうひと押し、追い込みの勉強にお役立て下さい

◆ 直前志望校対策コース ◆

【日程】入試までの期間中、ご希望の日時・回数と教科で受講いただけます。
【内容】直前の指導で結果を出してきた専門家庭教師による志望校対策です。
【費用】本コースに入会金(20,000円)は必要ありません。

4時間	6時間	8時間	10時間	12時間	14時間
33,600円	49,500円	64,800円	79,500円	94,200円	108,500円

※講師の交通費は実費となります。上記の指導料に別途消費税がかかります。
※2回4時間以上で、表にない時間数（16時間以上）の設定も可能です。
※本コースに体験授業はありませんが、教務が責任を持って適任の講師を人選いたします。
※初回の授業終了後、予定回数分の指導料をご請求いたします。未消化の分はご返金いたします。

5年生・4年生へ 当会人気講師の新年度の予約を開始しました（詳しくは当会ホームページをご覧下さい）

◆ 通常コースのご案内 ◆

◎指導料は月ごとの完全な後払いです
●入会金　20,000円（税別）　一家庭無期限有効
●指導料　月額48,000円～72,000円（税別）〈 週1回・各2時間の授業で月4回の場合 〉
※入会金は体験授業でご納得いただいた後のご請求です。　※指導料の範囲は講師の経験・実績によります。

◎体験授業で講師を確認して下さい
■体験授業は入会が条件ではありません。体験授業で授業内容を判断してご入会の可否をお決め下さい。体験授業の後でも入会を見送ることができます。
■体験授業は担当講師で行います。体験授業だけの講師ではありません。
■指導料、交通費、教材費等一切が無料です。
■体験授業は1時間30分ですが、前後に講師とお話しする時間もお取りいたしますから、合計2時間程度の時間をお考え下さい。
■万一の場合には、別の講師による再度の体験授業を受けられます。

●中学受験専門家庭教師派遣 麻布個人指導会
●固定電話から 0120-14-3004
●携帯電話から 03-3440-1940
《受付時間》朝7：30～夜8：00（日・祝除く）※当会は朝7：30より業務を行っております。朝早い時間でも、ぜひご遠慮なくお問い合わせ下さい。
●HPで最新情報更新中 麻布個人指導会 検索
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-13-6-2F